

ホラッ チーム出東

出東小学校 令和8年度学校だより NO.7 7月15日号 文責：秦 康人

夢と希望にあふれる学校

○進んで学ぶ子

○やさしい子

○元気な子

○ふるさとを愛する子



4月～7月をふりかえって ～出東の子どもたちの成長

今年の梅雨はあまり気温が上がらず、特に6月下旬は涼しい気候になりました。7月8日に梅雨明けとなり、それ以降は気温が高い日が続きましたが、その中でも熱中症対策には気を緩めず、担任や養護教諭は、しっかり水分をとって遊ぶこと、体調が悪い時は無理せず室内で過ごすことなどを指導してきました。

夏休みを目前に控え、ここまで子どもたち一人一人が精一杯学習や学校生活に取り組むことができたのは、子どもたち自身の頑張りはもちろん、地域・保護者の皆様の学校へ対するご理解とご協力のおかげだと感じております。

夏休みを迎えるにあたり、今年度の4つの学校経営の重点について、ここまでの教育活動を振り返ってみます。取組の詳細はPTA総会でお配りした『令和8年度 出雲市立出東小学校 学校経営計画』をご覧ください。

進んで学ぶ子 「学習に向かう意欲と学力の向上をめざして」

今年度も、昨年度と同様に、特に図書館を活用した教育活動に力を入れています。取組の詳細については、「学校だより NO.3 (5月11日号)」をご覧ください。具体的には2つの視点「探究的な学びのサイクルの確立」と「互いに理解し合い、安心して過ごせる集団・関係づくり (学級経営)」に重きを置いて、日々の実践に取り組んできました。

6月29日(月)には、2年生の生活科の研究授業で、図書館を活用した研究授業をしました。単元名は「生きものなかよし 大作せん」で、この日の授業は、生き物のためにもっとできるお世話について考えました。「もっとこうしたい」というアイデアを出したり、考えたことが本当かどうか確かめるために、図書資料を使って調べたりしました。

また、研究授業の公開にあわせ、島根県内の多くの学校から教員や学校司書の方に来ていただきました。参加された方からは、「担任の先生と子どもたちとのやり取りがとても良かった。」「図書資料がきちんとそろえられていて、良い環境ができています」「担任・司書教諭・学びのサポーターとの連携がきちんととれていて、役割分担ができています」などの良い点をあげてもらいました。課題としては、「実際に調べたり子ども同士で意見を交わしたりする時間が少なかったのでは？」などの意見が出ました。今回の授業で明らかになった課題をきちんとクリアしながら、今後も、図書館を活用した学びが深まるように、「進んで学ぶ子ども」の育成に取り組んでいきます。

同じように、普段の授業づくりにも積極的に取り組んでいます。6月19日(金)に、出雲市教育委員会の学力向上に関する学校訪問がありました。教育委員会学力向上推進係の指導員の方が来校され、各学級の授業を参観していただき、本校の学力向上策へ対する指導を受けました。詳細は「学校だより NO.6 (6月26日号)」をご覧ください。

ここまで、図書館教育を核にした「探究的な学び」と「日々の授業改善」に重きを置いて取り組んできました。9月以降も、この取組を継続していきます。



やさしい子 「良好な人間関係の育成をめざして」

今年度も、良好な人間関係の育成をめざして、「安定した気持ちで生活できる学級経営」と「いじめや差別、不登校・行き渋りの未然防止」に力を入れて取り組んでいます。学校経営方針の一つに「安定した気持ちで生活できる学級経営」を掲げ、その取組の一つとして、5月15日(金)に、全学年が「元気アップ教室」をしました(詳細は「学校だより NO.4 (5月29日号)」をご覧ください)。学年に応じた様々なゲームを通して、チームで相談して勝つ方法を考えることや、息を合わせることが大切なことを学ぶ良い機会になりました。一緒に



活動する相手の気持ちを大切にすることは、互いの人権を尊重する心の育成につながります。この日の活動だけでそれが達成するわけではありませんが、これをきっかけとして、日々の指導を積み重ねています。

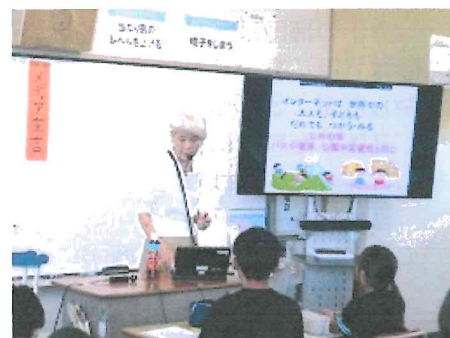
元気な子

「メディアとの関わりを中心とした望ましい生活習慣の育成・ふるまいの日常化をめざして」

本校では、子どもの「よりよい生活習慣の形成」をめざし、毎学期「スマイル週間」の取組を行い、①はやね ②はやおき ③朝ごはん ④学習 ⑤メディアについて、目標を決めて1週間を振り返っています。特に、スマートフォンをはじめとしたメディア機器の使い方を含めた「よりよい生活習慣の形成」は、現代社会の大きな課題の一つであり、解決のためには、学校からの啓発活動だけでなく、家庭での実践が必要となります。

7月13日（月）に、3年生と5年生は「島根の子どもとメディア研究会」の伊藤先生をお招きして、メディアの使い方に関する学習を行いました。3年生は、ゲーム・ネット依存に関することから発展して、各自がよりよい生活習慣に繋がる「メディアに関する宣言」を考えました。5年生は、より具体的にSNSに関するネットトラブルの事例や科学的な脳の仕組みなどから、メディア機器のよりよい使い方を考えました。

また、昨年度課題がみられた「廊下の歩き方」については、日々子どもたちに声かけを行ったり、廊下の環境を工夫したりして、改善の兆しがみられるようになりました。夏休み明け以降も、この取組を継続していきます。



ふるさとを愛する子

「出東・斐川のよさ（宝）を実感できる学習」

前号で、これまでのふるさと教育の様子をお伝えしましたが、それ以降にも、「郵便局見学（2年生）」や「営農水利施設見学（5年生）」など、各学年が地域に出かけて、たくさんの人や物と出会って学習を深めています。今後も、地域に出かけて、人や事柄についてインタビューしたり調査をしたりして、「ひと・もの・こと」に焦点を当てた学習に取り組んでいきたいと思います。



—校報の発行回数および時期の変更について—

本校が教育後援会のご予算をいただき発行しております「校報」は、学校の取組を広く周知し、家庭・地域との連携協働の基盤を築く大切な役割を担ってまいりました。これまで年間3回発行していましたが、今年度より年間2回（9月末・3月初旬）の発行へと変更させていただくこととしました。

今回の変更は、本校が今年度より「2学期制」へ移行したことに伴い、各学期の節目に合わせた最適なタイミングで情報をお届けするためのものです。また、従来の掲載内容を精選し、本当に必要な学校の情報や、子どもたちの生き生きとした活動の様子を、より深く丁寧に伝えることを目指しております。さらに、現在進めております教職員の働き方改革（業務改善）の一環として、原稿作成や編集に要していた時間を削減することで、教職員がこれまで以上に子どもたちと直接向き合い、日々の学習指導や生徒指導に注力できる環境を整えてまいります。発行回数は減りますが、内容の充実を図るとともに、日々のタイムリーな情報発信は学校ホームページやBLOG等も活用しながら、今後も学校・家庭・地域の強固な連携に努めてまいります。皆様の深いご理解と変わらぬご支援をお願い申し上げます。

<お知らせとお願い>

○今年度は7月18日（土）から8月30日（日）までが夏季休業日となります。ご家庭でも生活習慣の乱れがないよう、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

○8月10日（月）から18日（火）までは、学校を閉庁します。その期間の緊急連絡（児童に関すること）は、出雲市教育委員会児童生徒支援課（21-6204）、または斐川交番（72-0371）へお願いします。

○7月17日から低学年棟のトイレ設置工事が始まります。校舎への出入りの際はお気をつけください。